

デュッセルドルフ自転車ステーション

ドイツのノルトライン・ヴェストファーレン(NRW)州は、環境保護や駅前美化のため自転車交通を促進する施策の一つとして「NRW 州自転車ステーション 100 か所」計画を実施中であり、現在、州内 60 か所の駅前に自転車ステーションがある。此の度、最も新しい自転車ステーションの運営が、2009 年 9 月 23 日よりデュッセルドルフ中央駅前が始まった。

1.待望の自転車ステーション

NRW 州都のデュッセルドルフ市には、今まで自転車ステーションが無かった。「自転車にやさしい街」として、自転車利用促進に取り組む同市では、1995 年の計画開始当初から自転車ステーションについて検討を重ねてきた。デュッセルドルフ中央駅前の何処に設置すべきか、話し合いは 15 年間にも及んだ。同駅は鉄道以外でも地下鉄、路面電車、バスなど交通機関の要衝であり、常時、人々の往来が多い駅前広場の用地確保は容易ではなかった。しかしながら、その後、駅前タクシー乗り場が再開発により撤去されることとなり、駅前に直結する用地確保が実現し、ようやく待望の自転車ステーションが出来た。

なお、同所運営は非営利団体 Zukunftswerkstatt Duesseldorf(ZWD:デュッセルドルフ未来工房)が行っている。



デュッセルドルフ自転車ステーション



駐輪場入口

駐輪施設は最大 500 台収容可能であるが、レンタサイクル 30 台分(大人用 20 台、子供用 10 台)を除くと、実質的な収容台数は 470 台である。サイクルラックは上下二段式で、利用者が自力でラックに載せなくてはならない。駐輪場への出入りは非接触式のカードにて行われる。

他の設備としては、1回1ユーロ(135 円)で利用できるコインロッカーが 60 か所あり、入口付近にはタイヤの空気入れに使うコンプレッサーが置かれ、駐輪場利用者は自由に使える。なお、ミュンスター市の自転車ステーションのような自動洗車機導入も検討されたが、高額な費用と製造業者倒産などにより、購入は見送られ、代わりに洗車係を 1 名配置している。

利用料金は 1 日 70 セント(94.5 円)、1 ヶ月 7 ユーロ(945 円)及び 1 年間 70 ユーロ(9,450 円)であるが、更に年間 95 ユーロ(12,825 円)のプレミアムと称される特別料金を払えば、出入口に最も近い優待駐輪場(現在 35 台分)が利用でき、また自転車は受付でスタッフに預けるだけで駐輪を任せ

られる等の特典がある。また、レンタサイクルは準備中でまだ貸出していないが、団体利用割引なども考慮し、大人用1台で1日 10～12 ユーロ(1,350～1,620 円)程度となる予定である。



駐輪場内の様子



レンタサイクル(大人用シティ車)



空気入れ用コンプレッサー



コインロッカー

営業時間は月～金曜日は午前 6 時から午後 10 時、土日、祝日は午前 9 時から午後 10 時までである。受付にはスタッフ 2、3 名が常駐し、駐輪場内には 7 台の監視カメラが設置され、2 階の事務局にてモニターで監視している。受付では整備や修理に関する相談や申し込みも行え、既に多くの自転車が持ち込まれており、前サスペンションフォークとサドルが新品に交換された MTB など見かけた。更に受付では、パンク修理キットなどの販売や、デュッセルドルフ市内のお勧めサイクリングコースマップ(現在 7 コース)が情報コーナー置かれ、サイクリングに関する情報発信の場でもある。

2. 充実の整備・補修場

自転車ステーションは単なる駅前駐輪場ではなく、整備・補修場、レンタサイクル貸出所及び各種情報コーナー等の複合機能を持つ施設である。デュッセルドルフの自転車ステーションの場合、特に整備・補修場の機能が重視されている。同時に 10 台の自転車の整備・補修が可能であり、広いスペースに専用ラックや工具箱が揃い、常時 9 名の整備要員と 1 名の洗車要員からなり、月～金曜の午前 8 時から午後 16 時まで営業している。また、同市周辺でレンタル中の貸自転車「Next Bike」の整

備、点検業務も同所で行われ、整備要員の1名はその専属である。建物2階にはモニター監視を行う事務所の他、スタッフのための更衣室、食事をとる休憩室、研修や打ち合わせ行う会議室などがあり、その設備の充実ぶりは目を見張るものがある。



広々とした整備場の様子



受付にある情報コーナー



パンク修理キットなども販売

整備要員のうち2名は、自転車マイスターの資格を有し、彼らはここで自転車組み立て整備について指導・訓練を行っている。デュッセルドルフ自転車ステーションは、職業訓練による雇用促進という点にも力を入れている。現在求職中の人々がここで臨時要員として6か月間勤務し、マイスターの指導のもと、自転車の組み立て整備を学び、習得した技術により新たな雇用機会を得られるようにすることが、この自転車ステーションの重要な目的の一つであると、自らもマイスターであるZWD担当者は語っていた。

以上

(デュッセルドルフ事務所)